

防火・防災の 決意新たに

平成24年登別市消防出初式

1月7日(土)、市民会館で『平成24年登別市消防出初式』(市主催)が行われました。

屋外で行われた分列行進では、消防職員や団員などがきびきびと行進。式典では、小笠原市長が「消防人としての高い誇りと、職務の重要性を認識し、今後とも、心身の鍛錬、技術の練成に努め、市民の信頼と期待に応えてほしい」と職員や団員たちを激励しました。また、屋内では西胆振鷺会による『木遣り唄』や『纏い振り』、『梯子乗り』が披露され、約300人の参加者や観客を楽しませました。

1/7



▲出品された漬物を味わう審査員たち

わが家自慢の 味を競う

第35回つけものフェスティバル

1月19日(木)、市民会館で『第35回つけものフェスティバル』(同実行委員会主催)が開かれました。

この催しは、日本の伝統・食文化である漬物を次世代に引き継いでいくことを目的に毎年開かれているもので、今回は、『かすづけ・かすみそづけ』『さかなづけ』『ぬかづけ・玄米づけ』『アイデアづけ』の4部門に市民29人から70点の漬物が出品されました。

各種団体の代表などの審査員により、12点の入賞作品が選ばれた後、来場者も漬物を試食しながら、家庭の味の参考にしていました。

1/19



▲きびきびと行進する消防職員

納税意識の向上と 滞納の解消を図る 市が差し押さえた酒類などを公売

平成23年12月22日(木)、市民会館で、税の滞納により市が差し押さえた酒類や飲料水の公売会を開催しました。

公売は入札により行われましたが、見積価格が市場価格に対して割安に設定されている上、購入代金により、滞納の解消に貢献できるとあって、参加した市民は、会場にずらりと並べられた公売物件405点をじっくりと品定めして、積極的に入札に参加し、目当ての品を持ち帰っていました。

今回の公売物件は全て売却。売却総額は45万9千250円となり、これを滞納した市税に充てました。市は今後もこのような取り組みを進め、滞納処分の一層の強化を図ります。

12/22



▲多くの人が訪れた公売会の様子